

# 大磯の災害

## 風水害

いそべえとあおみちゃんは、今から100年ほど前の明治、大正、昭和初期の時代からタイムスリップしてきたアオバトのカップルです。1917年（大正6）9月30日、大磯では台風による大きな高潮被害がありました。2人が経験した高潮を中心に、大磯の風水害についてきいてみましょう。



いそべえ



©2011 IISOMACHI

あおみ

## たか しお 台風と高潮



大磯は海に面しているから、昔から台風は怖かったべえ。江戸時代から台風の被害と見られる水害や、暴風による家屋の倒壊、倒木、高潮の記録が見られるべえ。



そうね。だいたい20年に1回の<sup>ひんど</sup>頻度で大きな被害があったみたいね。私たちも何度か大きな被害を見ているけど、特に怖かったのは、1917年（大正6）の高潮ね。



あの時は、北下町や南下町が<sup>しんすい</sup>浸水して、多くの建物が壊されたべえ。この被害について詳しくみてみるべえ。

### 1917年高潮浸水推測図



※大磯町全図 1:10,000（大磯町 1995年発行）を使用

### 浸水する海岸沿いの道路



1997年（平成9）9月19日台風20号の高潮による。  
（宮代伊佐雄氏撮影／大磯町郷土資料館所蔵）



左の図は大磯の地図ね。青いところが高潮で建物などが壊されたところだわ。少なくとも、この辺りまで浸水したということね。



東海道（現国道1号線）のところまで水が来たという話も残っているべえ。



約100棟の建物が被害を受けて、約60隻の船が流されたり、壊されたりしたわ。ケガした人もいて、2人の人が亡くなったのね。



堤防も壊されたべえ。この時の高潮はなんと約15mの波が来たと言われているべえ。



当時は西湘バイパスもなかったし、今ほど砂浜が広くなかったから、もっと住宅と海が近かったわよね。



だからと言って安心できないべえ。左の写真のように、最近でも大磯港の方が浸水したことがあるべえ。台風による高潮、浸水、倒木は、今でも油断できないべえ。